

確実に進む 未来づくり

INDEX

- ④ 2013年以降の枠組み
- ⑤ 温室効果ガス排出削減対策
- ⑥ 省エネルギー政策
- ⑦ エネルギー管理システム
- ⑧ 再生可能エネルギー／総論・バイオマス
- ⑨ 再生可能エネルギー／小水力・地熱
- ⑩ 再生可能エネルギー／風力
- ⑪ 再生可能エネルギー／太陽光
- ⑫ 燃料電池
- ⑬ エコカー
- ⑭ スマートグリッド
- ⑮ スマートコミュニティー
- ⑯ 除染・災害廃棄物処理
- ⑰ 使用済み製品のリユース促進・都市資源開発
- ⑱ リサイクルの現実／容器包装・食品他
- ⑲ 大学の研究室から・自治体の先進事例
- ⑳ 生物多様性／国家戦略・事業者の取り組み

2011年11月、12月に南アフリカのダーバンで開催された国連気候変動枠組条約第17回締約国会議(COP17)は、地球温暖化対策に関して近年まれに見る成果を生み出した。しかしCOP17の合意を踏まえて11年5月にドイツのボンで開催された合意では議論が紛糾。あらためて、あらゆる国・地域が慎重に議論を積み重ねることが求められている。

12年6月20日、ブラジルのリオデジャネイロで、国連持続可能な開発会議(リオ+20)が開かれた。20年前に同地で開かれた環境と開発に関する国連会議(地球サミット)のフォローアップ会合の提案を受けて行われた。グリーン経済は持続可能な開発を達成する上で重要なツールであり、それを追求する国による共通の取り組みとして認識することなどを内容とする成果文書「我々の求める未来」が採択された。

一方、日本の未来については、2030年のエネルギー戦略の方針を示す政府の「革新的エネルギー・環境戦略」が8月

末に決まる。政府は脱原子力電依存と温室効果ガスの排出削減を両立しつつ、産業活動への影響を最小限に抑え、新たな成長戦略につなげる難しい取組を迫られることになる。

また、日本は11年3月11日の東日本大震災と、それに伴う東京電力福島第一原子力発電所事故の発生から2回目の夏を迎えた。事故で飛散した放射性物質による追加被ばくを防ぐための除染作業については、このほど被ばく線量が非常に高い地域で本格的な除染作業が始まったところ。「除染なくして復興なし」。未来づくりは確かに進んでいる。

日本で世界で……

福島市内で行われている住宅の屋根の除染現場(12年6月27日)
(第3種郵便物認可)



「グリーンカーテンプロジェクト2011」のキックオフイベントで、ゴージャスな学校5年生有志

とチラシを配布する東京都中央区立泰明小学校5年生有志



「国連持続可能な開発会議」(リオ+20)の閉幕式に出席した潘基文・国連事務総長
⑧と議長国ブラジルのルセフ大統領(ブラジル・リオデジャネイロ、AFP=時事)

THE NEW VALUE FRONTIER
KYOCERA

長く使うからこそ、ずっと信頼できる品質を。
太陽光発電は、京セラ。

今、太陽光発電を選ぶ基準は「長期信頼性」。
私たちに、最も多く、そして最も長く働き続けている実績があります。
確かな品質。ゆるぎない信頼性。それが、京セラが選ばれてきた理由です。

住宅での
長期使用実績 **No.1**
1993年、京セラは日本初の住宅用太陽光発電システムを発売。現在も、ずっと働き続けています。
※2012年6月現在

メガソーラー採用件数 **No.1**
北海道から沖縄まで、日本全国へ、次の時代を担う発電施設で、いちばん採用されています。
※電気事業連合会「計画公表済のメガソーラー設置発電」より算出(2011年12月現在)

品質認証 **世界初**
Superiative Long-term Reliability Test
(テフ ラインランド ジャパン(本社ドイツ)「長期連続試験」)
太陽電池として、世界で初めて認証を取得。環境先進国ドイツの機関が認めた、高い品質です。

学校への設置件数 **No.1**
1200件以上の設置。シェアは40%以上。安心が求められる学校で、いちばん採用されています。
※文部科学省「スクール・ニューディール構想」による採用実績校。京セラ調べ(2011年12月現在)

国内生産量 **No.1**
(2011年 多結晶セルの太陽電池)
数多くの実績とノウハウ。京セラは、素材からの一貫生産で、高品質を実現しています。
※PV NEWS Vol.31, Num.5 May 2012より2011年の会社別生産量において